

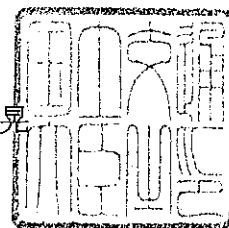


認定書

国住指第2862号
平成15年12月3日

筒中シート防水株式会社
代表取締役社長 仲間信義 様

国土交通大臣 石原 伸晃



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第68条の26第1項（同法第88条第1項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第63条並びに同法施行令第136条の2の2第一号及び第二号（防火地域又は準防火地域内の建築物の屋根）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

DR-0164

2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称

塩化ビニル系樹脂シート・アルミニウム蒸着ポリエチレンテレフタレート樹脂張ガラス不織布入ポリエチレン樹脂・硬質ウレタンフォーム保温板・普通合板張/木製下地屋根

3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容

別添の通り

(別添)

1. 構造名

塩化ビニル系樹脂シート・アルミニウム蒸着ポリエチレンテレフタレート樹脂張ガラス不織布入
ポリエチレン樹脂・硬質ウレタンフォーム保温板・普通合板張/木製下地屋根

2. 形状及び寸法等

項目	申請構造
形状	平板
厚さ(mm)	30.3 ₋₄ 以上
傾斜角	0° ~30°

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
防水シート	塩化ビニル系樹脂シート ・規格：JIS A 6008 ・厚さ：1.3 _{-0.2} ~2.0 _{+0.3} ・質量：1.6 _{-0.4} kg/m ² ~2.5 _{+0.6} kg/m ² ・構成：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)均質シート 塩化ビニル系樹脂シート ・厚さ：1.3 _{-0.2} ~2.0 _{+0.3} ・質量：1.6 _{-0.4} kg/m ² ~2.5 _{+0.6} kg/m ² (2)複合シート 塩化ビニル系樹脂シート ・厚さ：1.3 _{-0.2} ~2.0 _{+0.3} ・質量：1.6 _{-0.4} kg/m ² ~2.5 _{+0.6} kg/m ² ・構成： 塩化ビニル系樹脂 ・厚さ：1.3 _{-0.2} ~2.0 _{+0.3} ・質量：1.6 _{-0.4} kg/m ² (固)~2.5 _{+0.6} kg/m ² (固) ポリエステル繊維クロス ・厚さ：0.25~0.31 ・質量：0.02kg/m ² ~0.06kg/m ²

(別添-1)

項 目	申 請 構 造
絶縁層	<p>(1)～(13)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) アルミニウム蒸着ポリエチレンテレフタレート樹脂張ガラス不織布入ポリエチレン樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.21以上 ・質量：93g/m²以上 ・構成： <ul style="list-style-type: none"> アルミニウム蒸着ポリエチレンテレフタレート <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：15 μm以下 ・質量：14g/m²以下（うち有機質量：14g/m²以下） ポリエチレン樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：10 μm～150 μm, ・質量：9g/m² (固)～100g/m² (固) ガラス不織布 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.185以上, ・質量：70g/m²以上 <p>(2) ガラス不織布入ポリエチレン樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.19以上 ・質量：79g/m²以上 ・構成： <ul style="list-style-type: none"> ポリエチレン樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：10 μm～150 μm, ・質量：9g/m² (固)～100g/m² (固) ガラス不織布 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.185以上, ・質量：70g/m²以上 <p>(3) アルミニウム蒸着ポリエチレンテレフタレート樹脂張ガラスクロス入ポリエチレン樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.1_{-0.02}以上 ・質量：90g/m²以上 ・構成： <ul style="list-style-type: none"> アルミニウム蒸着ポリエチレンテレフタレート <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：15 μm以下 ・質量：14g/m²以下（うち有機質量：14g/m²以下） ポリエチレン樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：10 μm～100 μm, ・質量：9g/m² (固)～100g/m² (固) ガラスクロス <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.08_{-0.02}以上, ・質量：70g/m²以上 <p>(4) ガラスクロス入ポリエチレン樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.08_{-0.02}以上 ・質量：79g/m²以上 ・構成： <ul style="list-style-type: none"> ポリエチレン樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：10 μm～100 μm, ・質量：9g/m² (固)～100g/m² (固) ガラスクロス <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.08_{-0.02}以上, ・質量：70g/m²以上 <p>(5) 火山性ガラス質複層板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 5440 ・厚さ：6以上 ・質量：4.2kg/m²以上 <p>(6) けい酸カルシウム板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 5430、平成12年建設省告示第1400号 ・厚さ：4以上 ・質量：0.6kg/m²以上

項 目	中 請 構 造
絶縁層 (つづき)	<p>(7) スレートボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 5430、平成12年建設省告示第1400号 ・厚さ：3以上 ・質量：3.9kg/m²以上 <p>(8) パーライト板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 5430、平成12年建設省告示第1400号 ・厚さ：6以上 ・質量：1.8kg/m²以上 <p>(9) スラグせっこう板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 5430、平成12年建設省告示第1400号 ・厚さ：5以上 ・質量：3.0kg/m²以上 <p>(10) せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 6901、平成12年建設省告示第1401号 ・厚さ：9.5以上 ・質量：5.7kg/m²以上 <p>(11) 強化せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 6901、NM-8615 ・厚さ：9.5以上 ・質量：7.5kg/m²以上 <p>(12) シーリングせっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 6901、QM-9826 ・厚さ：9.5以上 ・質量：5.7kg/m²以上 <p>(13) 不燃積層せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格：JIS A 6901、NM-8613 ・厚さ：9.5以上 ・質量：5.7kg/m²以上
断熱材	<p>(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 硬質ウレタンフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：20₋₂～150₊₆ ・密度：30_{±5}kg/m³ ・組成（質量％）： <ul style="list-style-type: none"> { イソシアネート 50_{±10} { ポリオール 30_{±10} { その他（発泡剤等） 20_{±5} ・表面材： <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.20_{±0.1} ・構成 <ul style="list-style-type: none"> { アルミニウムはく・質量：19_{±1}g/m² { 紙 質量：176_{±1.2}g/m² ・裏面材 <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ：0.20_{±0.1} ・構成 <ul style="list-style-type: none"> { クラフト紙 質量：130_{±1.2}g/m² { ポリエチレンフィルム 質量：50_{±1.0}g/m²

項 目	中 請 構 造
断熱材 (つづき)	<p>(2) 押出法ポリスチレンフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$20_{-2} \sim 150_{+6}$ ・ 密度：$30_{\pm 5} \text{kg/m}^3$ ・ 組成（質量％）： <ul style="list-style-type: none"> { ポリスチレン樹脂 $90_{\pm 10}$ { その他（発泡剤等） $10_{\pm 5}$ ・ 表面材： <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$0.3_{\pm 0.1}$ ・ 構成 <ul style="list-style-type: none"> { アルミニウムはく・質量：$32_{\pm 5} \text{g/m}^2$ { ポリエチレンフィルム 質量：$18_{\pm 2} \text{g/m}^2$ { 紙 質量：$100_{\pm 5} \text{g/m}^2$ { ポリエチレンフィルム 質量：$18_{\pm 2} \text{g/m}^2$ { 紙 質量：$100_{\pm 5} \text{g/m}^2$ { エチレン酢酸ビニル樹脂・質量：$11_{\pm 2.5} \text{g/m}^2$ ・ 裏面材 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$0.25_{\pm 0.1}$ ・ 構成 <ul style="list-style-type: none"> { エチレン酢酸ビニル樹脂・質量：$21_{\pm 2.5} \text{g/m}^2$ { 紙 質量：$100_{\pm 5} \text{g/m}^2$ { ポリエチレンフィルム 質量：$18_{\pm 2} \text{g/m}^2$ { 紙 質量：$60_{\pm 5} \text{g/m}^2$
	<p>(3) フェノールフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：$20_{-2} \sim 150_{+6}$ ・ 密度：$27_{\pm 5} \text{kg/m}^3$ ・ 組成（質量％）： <ul style="list-style-type: none"> { レゾール樹脂 $95_{\pm 3}$ { 炭化水素 $5_{\pm 3}$ ・ 表面材：ポリエステル不織布 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ $0.13 \sim 0.3$、質量 $20 \text{g/m}^2 \sim 40 \text{g/m}^2$ ・ 裏面材：ポリエステル不織布 <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ $0.13 \sim 0.3$、質量 $20 \text{g/m}^2 \sim 40 \text{g/m}^2$
	<p>(4) 押出法ポリスチレンフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規格：JIS A 9511 ・ 厚さ：$20_{-2} \sim 150_{+6}$ ・ 密度：$15 \text{kg/m}^3 \sim 30_{+5} \text{kg/m}^3$
	<p>(5) ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規格：JIS A 9511 ・ 厚さ：$20_{-2} \sim 150_{+6}$ ・ 密度：$15 \text{kg/m}^3 \sim 30_{+5} \text{kg/m}^3$

項 目	申 請 構 造
野地板	<p>(1)～(15)のうち、いずれか一仕様とする。</p> <p>(1) 普通合板 ・規格：JAS ・厚さ：9以上</p> <p>(2) 構造用合板 ・規格：JAS ・厚さ：9以上</p> <p>(3) コンクリート型枠用合板 ・規格：JAS ・厚さ：12以上</p> <p>(4) 素地パーティクルボード ・規格：JIS A 5908 ・厚さ：9以上</p> <p>(5) OSB ・規格：JIS A 5908 ・厚さ：9以上</p> <p>(6) 普通木毛セメント板 ・規格：JIS A 5404、平成12年建設省告示第1401号 ・厚さ：15以上</p> <p>(7) 普通木片セメント板 ・規格：JIS A 5404、平成12年建設省告示第1401号 ・厚さ：30以上</p> <p>(8) 硬質木毛セメント板 ・規格：JIS A 5404、平成12年建設省告示第1401号 ・厚さ：15以上</p> <p>(9) 硬質木片セメント板 ・規格：JIS A 5404、平成12年建設省告示第1401号 ・厚さ：12以上</p> <p>(10) せっこうボード ・規格：JIS A 6901、平成12年建設省告示第1401号 ・厚さ：9.5以上</p> <p>(11) 強化せっこうボード ・規格：JIS A 6901、平成12年建設省告示第1401号 ・厚さ：9.5以上</p> <p>(12) シーリングせっこうボード ・規格：JIS A 6901、平成12年建設省告示第1401号 ・厚さ：9.5以上</p> <p>(13) 不燃積層せっこうボード ・規格：JIS A 6901、平成12年建設省告示第1401号 ・厚さ：9.5以上</p> <p>(14) ビニル樹脂系繊維混入セメント板 ・規格：NM-9683 ・厚さ：15以上</p> <p>(15) なし（下地が(3)～(5)の場合に限る）</p>

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
下 地	<p>(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 木製下地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寸法：20×45の断面寸法以上 ・ 間隔：2000以下 <p>(2) 鋼製下地：①～③のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>① 一般構造用圧延鋼材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規格：JIS G 3101 ・ 寸法：□-45×20×10×1.6の断面寸法以上 ・ 間隔：2000以下 <p>② 一般構造用軽量形鋼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規格：JIS G 3350 ・ 寸法：□-45×20×10×1.6～□-250×75×25×4.5 ・ 間隔：2000以下 <p>③ 建築構造用圧延鋼材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規格：JIS G 3136 ・ 寸法：□-45×20×10×1.6の断面寸法以上 ・ 間隔：2000以下 <p>(3) 軽量気泡コンクリートパネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 規格：JIS A 5416 ・ 厚さ：35以上 <p>(4) 鉄筋コンクリート造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：50以上 <p>(5) プレストレストコンクリートパネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ：50以上

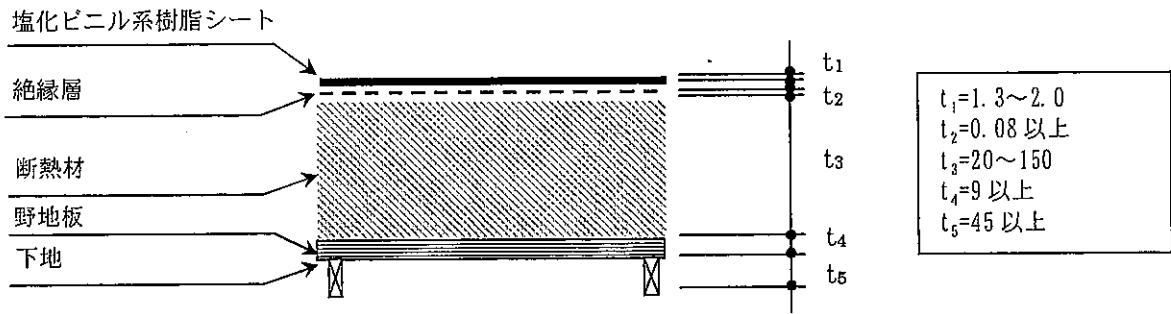
2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

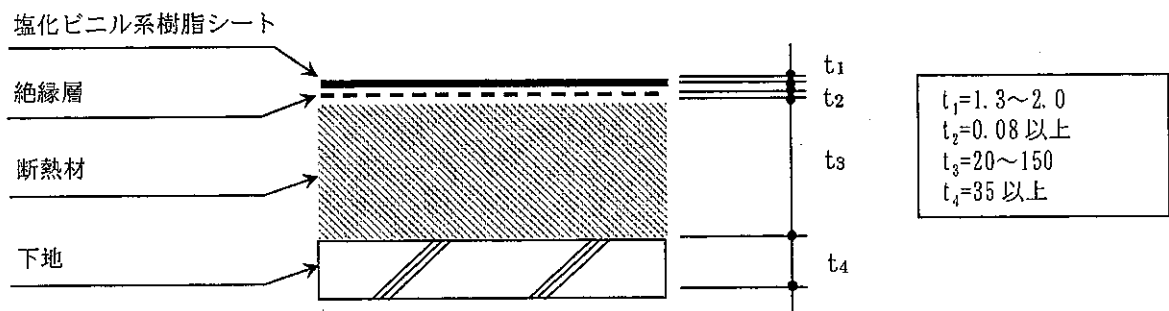
項 目	申 請 構 造
固定金具留 付け用ビス	<p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) ステンレス製</p> <p>(2) 鋼製</p> <p>(3) アルミニウム製</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寸法：φ3.6以上×ℓ30以上
円 盤 状 固定金具	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 塩化ビニル樹脂被覆鋼板製</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直径：65₅以上 ・ 厚さ：0.7～1.7 <p>(2) 合成樹脂系接着剤塗布鋼板製</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 直径：65₅以上 ・ 厚さ：0.5～1.7

4. 構造説明図 (寸法単位 : mm)

木製・鋼製下地の場合



軽量気泡コンクリートパネル・鉄筋コンクリート造・プレストレストコンクリートパネル下地の場合

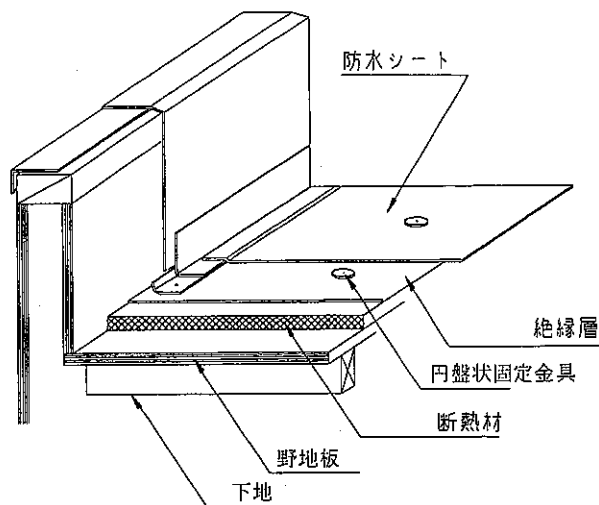


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

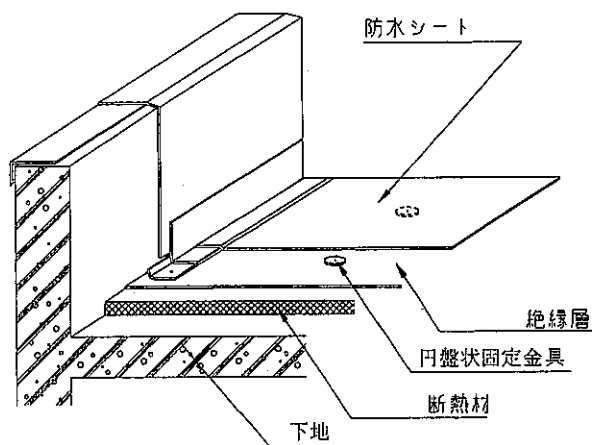
5. 施工方法等

<施工図>

木製・鋼製下地の場合



軽量気泡コンクリート被・鉄筋コンクリート造・プレストレストコンクリート被下地の場合



<施工手順>

下地

・木製・鋼製下地の場合

所定の間隔で施工した下地に野地板を施工し、その上に断熱材・絶縁層を敷設する。
円盤状固定金具を用いて、断熱材・絶縁層を下地に固定する。

・軽量気泡コンクリート被の場合

厚さ 35 mm 以上の軽量気泡コンクリート被上に断熱材・絶縁層を敷設する。
円盤状固定金具を用いて、断熱材・絶縁層を下地に固定する。

・鉄筋コンクリート造・プレストレストコンクリート被下地の場合

厚さ 50 mm 以上施工した上に断熱材・絶縁層を敷設する。
円盤状固定金具を用いて、断熱材・絶縁層を下地に固定する。

加工

防水シートを敷き込み、現場にて必要寸法に裁断し寸法調整する。

取付け

固定された円盤状固定金具に対して、必要寸法に裁断した防水シートを接合し、さらに防水シート継ぎ目も接合する。